

2017年(平成29年)6月29日(木) NO 111号

K-PURO NEWS

【事業所】

◆	社名	株式会社 ケイプロ	http://www.k-puro.co.jp
◆	商号	都市防犯プランニング社	mail info@k-puro.co.jp
◆	本社	埼玉県蕨市中央 1-7-1 シティタワー蕨	TEL 048-446-9445
◆	千葉支店	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110

【業務内容】



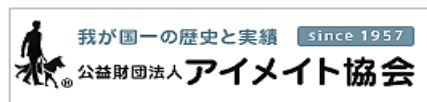
機械警備事業	弊社独自のセキュリティプランニングに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用
防犯カメラ事業	周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効かつ適正な位置へ設置
メンテナンス事業	消防設備点検・工事から AED 幹旋に至るまでのメンテナンス業務の取扱い

【加盟団体】



RID2770	川口モーニングロータリークラブ	http://www.h3.dion.ne.jp/~mrc/
NPO 法人	さいたま起業家協議会	http://www.saitama-kk.org/
公益社団法人	千葉東法人会	http://www.chibahojin.jp/
一般社団法人	千葉市中央区倫理法人会	http://www.rinri-chiba.org/
公益財団法人	モラロジー研究所	http://www.moralogy.jp/

【応援団体・企業】



今月の言葉

日々の仕事には、どのような意味があるのでしょうか。

利益や業績を上げることも大切でしょう。

しかし何より忘れてはならないことは「人間が幸せになるための仕事」という視点です。

その取り組みによって、自分や関わる人たち、そして社会の幸せの分量が増えてこそ、価値ある仕事といえるのではないでしょうか。

仕事に誠実に取り組むことは、社会の恩恵に報いる方法の一つでもあります。

今の自分を支えてくれているさまざまな「おかげ」を自覚したとき、感謝の心で仕事と向き合うことができるでしょう。



今月の良い話

「夫婦愛」



ご紹介するのは、戦国武将・宇喜多秀家とその妻・豪姫。
日本史上、ひとときわ輝く夫婦の物語です。
前田利家とまつ夫妻の四女・豪姫は、子のなかった豊臣秀吉と
ねね夫妻のもとで、養女として大切に育てられました。
一方、宇喜多秀家は10歳で父・直家を病で失うと、後を託された
秀吉の手で立派な武将に育て上げられます。

二人にとって秀吉は育ての親であるとともに、結婚をとりもってくれた恩人でもあったのです。
その秀吉が死ぬ間際のこと。
側室の淀殿との間で晩年にもうけた秀頼の行く末を案じた秀吉は、豊臣政権を支える五大老を
枕元に呼びます。
そこには徳川家康、前田利家、毛利輝元、上杉景勝ら重鎮が居並ぶ中、ただ一人、二十代の
宇喜多秀家の姿もありました。
「返す返すも頼みまいらせ候」と何度も頼む秀吉を目の当たりにして、今度は自分が秀頼様を
お守りする番だと、秀家は心に誓ったことでしょう。

それから二年後の慶長5(1600)年、関ヶ原の合戦においても、秀家は何の迷いもなく石田三成率い
る西軍につくと、その中軸として約6時間に及ぶ合戦を戦い抜くのです。
しかし秀吉への恩返しを誓った秀家の奮闘虚しく、相次ぐ裏切りの末に西軍は敗北。
敗軍の将となった宇喜多秀家に科されたのは、八丈島への流罪でした。
豪姫は夫とともに八丈島に渡ることを切望しますが、許されません。
当時は夫婦が何らかの理由で別れて暮らす場合、息子は父方に、娘は母方に引き取られるのが常
でした。そのため豪姫は娘とともに前田家へ、二人の息子は秀家に伴われて八丈島へと向かったの
です。自然環境の厳しい八丈島での暮らしは、秀家にとって苦難の連続でした。
そんな秀家を何とか助けたいと願った豪姫は、前田家を通じて幕府の許可を得ると、毎年のように
米や金子、衣類、雑貨、医薬品などを仕送りしたのです。

ある時豪姫は、絵師に描かせた自分の肖像画を荷物の中に紛れ
込ませ、八丈島に送りました。

その肖像画はいまも秀家の子孫がお持ちだそうですが、その肖像
画の写しが、豪姫の菩提寺である大蓮寺(石川県金沢市)にありま
す。色使いも含めて実に綺麗に描かれているのですが、よく見ると
額の辺りだけ色が薄く、消えかけているのが分かります。

これは八丈島に流されたまだ幼い息子たちが、毎日のように涙を流しながら
「母上、母上……」と額の辺りを撫でていたためにそうなったのです。

若くして秀家と離れ離れとなった豪姫でしたが、その後は再婚話をすべて断り、金沢で61年の生涯
を閉じました。

いつかまた愛する家族と一緒に暮らしたいという豪姫の祈りは、残念ながら天に届くことはありません
でした。もっとも、彼女のもう一つの祈りを天は聞き届けてくれたようです。

来る日も来る日も家族の無事を祈った豪姫。

彼女が亡くなった時、八丈島に流された三人はまだ健在だったのです。

それどころか人生50年といわれていた時代に、秀家は八丈島で49年生き長らえ、83歳で生涯を
閉じました。



きっと人の思いというのは時空を超えて、相手に届くのでしょう。その後、八丈島に住む宇喜多家への仕送りは、加賀藩によって途切れることなく幕末まで続けられました。
しかも新政府によって罪を解かれた宇喜多一族を船で迎えに行き、東京に住む家を用意して、生活の面倒までみたというのです。

秀家と豪姫の時代から既に 400 年余りが経ちましたが、
いまま大蓮寺にある豪姫の肖像画に
「あの時はありがとうございます」
と手を合わせに来る八丈島の人がいるといえます。
「あの時」というのは、八丈島が飢饉に見舞われた時のこと
で、秀家は豪姫からの仕送りを、惜しげもなく飢えに苦しむ島民たちに分け与えていたのです。



秀家と豪姫から受けた恩を 400 年にわたって語り継ぐとともに、500 キロ離れたお寺までお参りに訪れる島民たち。私はその姿に、恩を尊ぶ日本人の美しさが見事に表れていると思うのです。

白駒 妃登美 ことほぎ代表 月刊致知 2016 年 9 月号

今月の面白い話 「金運を育てる」

私はビジネスプロデューサーという職業柄、
「運のいい人」と「運があまり良くない人」を無意識のうちに感じ取ることができます。
なかでも、金運のある人となない人とは【お金】という明確なモノサシがありますので、収入や資産、日々の生活ぶりから違いが分かりやすかったりします。金運がある人は、お金の困りません。もし「あ、足りない！」というときも、どこからかお金が入ってきてなぜか解決してしまいます(笑)。

金運がない人は、金運に恵まれた人をうらやましがりますし、ときにひがんだりします。
特に、生まれつきお金に恵まれている人のことをひがんでしまうことはよくあること。
ただ、人のことをひがめばひがむほど、潜在意識には「自分にはお金がない」という裏のメッセージが入って、ますますお金が消えていきます。

お金が欲しい人は、「後天的金運」を育てていきましょう。
その方法としては、私は神道研究者でもありますので、毎日祝詞を唱えるのと、月に 2 回、家か仕事場のそばの神社に参拝して、日々の感謝を伝えることを勧めています。



それともう一つ、運氣をもたらす「龍」と親しむこともお勧めです。
前にも書きましたが、龍は日本でも中国大陸でも古代から力と繁栄の象徴です。
私のクライアントでも、安定して成長していく企業の社長さんや個人で圧倒的な結果を出していく人は、なぜか龍を好きな人が多いのです。

龍を祀る神社を探して参拝したり、そうした神社が近くにはない場合は、龍が刻まれたパワーストーンやアクセサリを身につけるのもいいでしょう。

道幸 武久 ビジネスプロデューサー

事件ファイル NO111 商標侵害リスク



ある日突然「警告書」が届き、商標(ログマーク)を変えざるを得ないトラブルに見舞われる…。商標権を侵害すると、商標法に違反するとして商標の使用の停止を求められます。いわゆる差し止め請求です。

- ①店舗に付帯 → 看板や食器類、箸袋
- ②営業に付帯 → 名刺・ポスター・チラシ・パンフレット
- ③電子的付帯 → HP や WEB サイトに表示されるログマーク

また、社名や商品名の変更を余儀なくされる恐れがあります。

【その他のリスク】

- ①損害賠償請求 → 現在は商標の使用を中止している場合でも、過去に商標を使用したことによる過去の侵害分に対する損害賠償請求がかかることがある。
 - ②信用回復措置 → 商標法に違反することにより、商標権者の信用が損なわれたと商標権者が感じた場合には、信用回復措置として、謝罪広告などの掲載を求められることがある。
 - ③買取要求 → 商標権者から商標権の高額での買取を迫られる場合がある。
- * 商標登録なんて大手企業だけのもの…とっていると、いつの日か「警告書」が届くかも知れません。そうならないためにも、リスク管理の一環として商標登録をしておくことをお勧めいたします。

プロ太の小話集 NO111 『罰』

運悪く、伊藤君は 20 キロオーバーでパトカーに捕まってしまった。
 警官が、伊藤君に違反切符を切ろうとした時、助手席の女性がカン高い声でわめきだした。
 「言わないことじゃない。まったくアンタったら！ ブレーキは遅い、右って言ったら左へ行く、ノロノロ運転して、アタシがさんざん急げって言ったら、今度はスピード違反でつかまるなんて。あんなに気をつけろって言ったでしょ！ ええ？ 聞こえなかったの！ どうなんだよ！ このハゲー！」
 「このご婦人はどなたですか？」 警官は聞いた。
 「私の家内です…」 観念した伊藤君は答えた。
 「なるほど…、よろしい。もう行って結構です。」 警官は言った。
 「これ以上、罰を受ける必要はないでしょうから…」



今月の K-PURO ニュースいかがでしたか？
 K-PURO のロゴが、5 月 26 日無事に商標登録することが出来ました。
 防犯カメラのステッカー等でロゴは外部にも貼付するため、これによりひとまず安心して業務を遂行できます。
 企業を取り巻くリスクはたくさんありますが、一つひとつクリアしてリスク管理をさらに高め、安定した企業に育てていきたいと思ひます。
 費用はいくらもありませんので皆さんもどうぞ。
 今回、申請手続きをしてくれたのは、同じロータリークラブで友人の「日の出総合特許事務所」の赤塚代表。東京大学を出て、せっかく天下の日立製作所に入ったのにさっさと独立してしまつた面白い奴。仕事もそうですが、とにかく返信が早い。こういう奴もいるんだと、彼のレスポンスには多々感心させられます。

注:プロ太とは、写真のK-PURO番犬です (体長 10メートル・体重 1トン・無敵無敗)